

## 海外日本語教師テーマ別研修

2018（平成30）年度用

### 申請要領

#### 1. 趣旨

本プログラムは、日本語教育の教授法に関する特定のテーマについて、それに関する理論や方法論の知識を高め、教育能力の向上を図るとともに、教育現場での課題解決に結びつけることを目的に研修を行います。平成30年度のテーマは、「文法指導法」、「コースデザイン」の二つです。

日本語教授法に関する集中的な講義やディスカッションを行いますので、それに必要な日本語運用力及び教授歴を持ち、日本語教育の理論への関心のある教師が対象となります。

#### 2. プログラム概要

##### (1) 期間

ア 研修テーマ「文法指導法」：2018年5月29日～2018年7月5日（予定）

イ 研修テーマ「コースデザイン」：2018年11月6日～2018年12月13日（予定）

※研修参加者が10名に満たない場合は、実施しない場合もあります。

##### (2) 実施場所

国際交流基金日本語国際センター（埼玉県さいたま市）

##### (3) 研修内容

特定のテーマに即した日本語教授法の理論や教授法技術を確認し、共有します。そして、その理論や技術をそれぞれの現場の課題にどのように結びつけることができるか考えます。

##### ア 「文法指導法」

文法指導のバリエーションを増やすことを目標とします。言葉による説明以外の様々な方法、第二言語習得研究やピア・ラーニング等の要素を取り入れた文法授業について学び、現場の実践の具体的な改善に取り組みます。

##### イ 「コースデザイン」

目標、授業、評価の整合性にポイントを置いて、コースデザインに必要な理論と方法を学びます。研修の前半は講義とワークショップを通して理論を中心に学び、後半は2つの実習（課題遂行型のコースデザインと参加者の所属機関の日本語コースの改善案作成）に取り組みます。

##### (4) 採用予定人数

各研修テーマ 約15名

#### 3. 申請資格

海外で日本語教育を行う教育機関（個人からの申請は受け付けません）。また、参加候補者は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

日本語の母語話者、非母語話者を問わず、申請が可能です。

- (1) 申請機関と雇用関係にある日本語教師で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。なお、申請時点で日本語教師として教育実習中の方は対象としません。
- (2) 日本と国交のある国若しくは日本国籍の国籍を有すること。 ※台湾の方も申請可能です。
- (3) 2017年12月1日時点で、満56歳未満であること。
- (4) 心身ともに研修プログラムへの参加に支障がない状態であること。
- (5) 2017年12月1日時点で、3年以上の日本語教授歴を持つこと。（個人教授及び教育実習の期間は除きます。）
- (6) 申請時点で日本語能力試験N2又は旧日本語能力試験2級程度以上の日本語能力を有していること（日

本語能力試験の各レベルの認定の目安は日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1～N5：認定の目安」  
<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html> を参照。

- (7) 2017年4月から2018年3月までに国際交流基金や日本の大学等において50日間以上の日本語教師研修(「海外日本語教師短期研修」を含む)を受講していないこと(受講予定を含む)。
- (8) 過去に海外日本語教師テーマ別研修に参加し、同じ研修テーマを受講していないこと。

※「海外日本語教師短期研修」等と同時に申請することも可能ですが、採用される場合でも、一つの研修のみへの採用となります。

※両方のテーマに申請が可能ですが、採用される場合でも、いずれか一つのテーマのみの採用となります。

#### 4. 支給内容

- (1) 宿舍(国際交流基金日本語国際センター内のシングルルーム)
- (2) 研修期間中の食事(一部は現金支給)
- (3) 研修に参加するための必要経費(教材等を現物で支給)
- (4) 研修参加に必要な期間中の疾病及び傷害に対する海外旅行保険の付保(補償額の上限あり。既往症や歯科治療等は当該保険の適用対象外)。
- (5) [表1]に掲げる地域にある申請機関に所属する方については、以下ア～ウを国際交流基金が負担します。  
 [表1]以外の地域、及び例外欄に記載のある国・地域に所属機関がある方は、参加者本人の負担となります。  
 ア 往復航空券(エコノミークラス割引運賃、居住地最寄り国際空港発着)  
 イ 出国税・空港利用税  
 ウ 研修補助費(来日中の自主研修に必要な公共交通機関の交通費等を現物で支給)

[表1]

地域	例外の国・地域
アジア・大洋州地域	ただし、韓国、香港、マカオ、台湾、シンガポール、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランドを除く。
中南米地域	ただし、セントクリストファー・ネイビス、トリニダード・トバゴ、パハマ、バルバドスを除く
東欧地域	(例外なし)
中東・北アフリカ地域	ただし、アラブ首長国連邦、イスラエル、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、バーレーンを除く
アフリカ地域	(例外なし)

#### 5. 審査方針

- (1) 当該国・地域・機関での日本語教師研修の必要性、申請機関が「さくらネットワーク」の認定機関であるか、候補者の日本語運用力、教授経験の他、候補者のポジション(専任/非専任)、影響力等のような観点から審査します。

(※)「さくらネットワーク」については、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jpj.go.jp/j/project/japanese/education/network/>

- (2) さくらネットワークメンバーからの申請は、優先順位が高くなります。

#### 6. 申請手続

- (1) 申請書類

申請書は全部で8ページです。申請書の原本とそのコピー1部を、それぞれホッチキス留めをして、提出してください。申請書に不備がある場合は、審査対象とはなりませんのでご注意ください。

なお、研修参加候補者の所属しているさくらネットワークメンバーが日本語教育機関以外の教師会や学会等の団体の場合には、研修参加候補者がさくらネットワークメンバーの団体に所属していることの証

明書（さくらネットワークの団体が作成したもの）を申請書に添付してください。

(2) 申請書提出先と締切

2017年12月1日（必着）までに、最寄りの国際交流基金海外拠点、又は日本国大使館や総領事館等の在外公館に提出してください。台湾は、(公財)日本台湾交流協会の台北事務所に提出してください。e-mailやFAXでの提出はお受けしていません。

(3) 留意事項

ア 申請書はタイプ又は黒のボールペンを用いて活字体で記入してください。

イ 申請書は、「英語」や「原語」等の指示があるところ以外は日本語で記入してください。また、記入にあたって「候補者」部分は、候補者が他の人の助けは借りず、自分の力だけで書いてください。

ウ 提出された申請書類は返却いたしません。申請書を提出する際には、必ず申請者用のコピーをお手元に残しておいてください。

エ 申請書類提出後、記入内容に変更が生じた場合には、速やかにお知らせください。

## 7. 結果通知

(1) 国際交流基金日本語国際センターで審査を行い、2018年3月中に結果を各申請者に通知します。

(2) 採否理由等についてのお問合せには一切応じられませんので、ご了承ください。

## 8. 採用実績（参考）

採用 17 名（(1) コースデザイン 10 名、(2) 教材作成 7 名） / 応募 36 名（2017(平成 29)年度）

## 9. 研修参加者の義務

研修参加者は以下の条件を守らなければなりません。

(1) 日本滞在中は日本国法令を守ること。

(2) 研修に専念し、日本滞在を他の目的（宗教的あるいは政治的目的等）に利用しないこと。

(3) 研修参加者は、集団での研修に参加することを前提に招へいされたことを理解し、国際交流基金日本語国際センターの指示に従って、全ての研修活動に参加すること。

(4) 研修期間の開始より前に来日しないこと。

(5) 研修期間中に一時帰国や第三国への旅行をしないこと。

(6) 国際交流基金日本語国際センターが滞在延長を許可した場合を除き、研修期間が終わり次第、直ちに帰国すること。

(7) 家族を同伴しないこと。

## 10. 事業に関する情報の公開

(1) 採用された場合、申請者・団体の名称、事業の概要等の情報は、国際交流基金事業実績、年報、ウェブサイト等において公表されます。

(2) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」（平成13年法律第140号）に基づく開示請求が国際交流基金に対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された申請書類は開示されます。

## 11. 個人情報の取扱い

以下の内容を、申請機関から候補者にお伝えくださいますようお願いいたします。

(1) 国際交流基金は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第59号）を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。国際交流基金の個人情報保護への取組については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jpf.go.jp/j/privacy/>

(2) 申請書及び添付書類に記入された情報は、採否審査、事業実施、事後評価等の手続のほか、次のような目的で利用します。これらの個人情報の利用については、申請機関より候補者にもお知らせくださるようお願いいたします。

- ア 研修参加者の氏名、性別、職業・肩書、所属先、事業期間、事業内容等の情報は、研修実施案内に公表するほか、国際交流基金の事業実績、年報、ウェブサイト等の公表資料への掲載、統計資料作成に利用されます。また、国際交流基金事業の広報のため、報道機関や他団体に提供することがあります。
- イ 採用者の居住する国の日本国大使館・総領事館等の在外公館及び日本国外務省にも、査証発給のため、これらの情報を提供することがあります。
- ウ 申請書、添付書類及び事業報告書・成果物などは、採否審査、事後評価等のため、外部有識者等の評価者に提供することがあります。提供する際、評価者の方には、個人情報への安全確保のための措置を講じていただくようにしています。
- エ 事業終了後に、本件事業に関するフォローアップのためのアンケートをお願いする場合があります。
- オ 記入される連絡先に、他の国際交流基金事業についてご連絡を差し上げることがあります。
- (3) 国際交流基金に提出された事業報告書・成果物などは、国際交流基金事業の広報のため、公開することがあります。
- (4) 研修実施のため、渡航手配や研修プログラムに協力を得る関係者(保険会社及びその代理店、航空会社、自治体等)に、必要な範囲で情報を提供します。
- (5) 本研修に応募された方は、上記目的での個人情報の利用に同意したものとみなします。

## 12. 問合せ先

日本語国際センター教師研修チーム Tel. +81-48-834-1182 Fax. +81-48-834-1170

e-mail: urawakenshu@jpf.go.jp

\*申請書のフォーマットは、次のウェブサイトから入手可能です。

<http://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>

**申請書作成上の注意****全体的な注意事項**

1. 申請書のフォーマットは、次のウェブサイトから入手可能です。申請書は全部で8ページです。  
<http://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>
2. 申請書の原本及びそのコピー1部を、それぞれホッチキス留めをして、提出してください。申請書に不備がある場合は、審査対象とはなりませんのでご注意ください。
3. 最寄りの国際交流基金海外拠点又は日本国大使館や総領事館等の在外公館に提出してください。台湾は、(公財)日本台湾交流協会の台北事務所に提出してください。e-mailやFAXでの提出はお受けしていません。
4. 申請書の提出期限は2017年12月1日(必着)です。できる限り余裕を持って提出するようにしてください。
5. 提出された申請書類は返却いたしません。申請書を提出する際には、必ず申請者用のコピーをお手元に残しておいてください。
6. 申請書の受理通知を希望する場合は、はがきに返信用切手を添付の上、住所、氏名、プログラム名、受理通知を希望する旨を記載して、申請書に同封してください。国際交流基金海外拠点若しくは日本国大使館や総領事館等の在外公館の担当者が申請書を受理したことを証するために、署名して返送します。ただし、返信用切手が貼っていないもの、必要事項が記載されていないものは返送できませんので、ご注意ください。
7. 申請書類提出後、記入内容に変更が生じた場合には、速やかにお知らせください。

**申請書記載要領**

1. 申請書はタイプ又は黒のボールペンを用いて活字体で記入してください。
2. 申請書は、「英語」や「原語」等の指示があるところ以外は日本語で記入してください。また、記入にあたって「候補者」部分は、候補者が他の人の助けは借りず、自分の力だけで書いてください。
3. 研修参加候補者の所属しているさくらネットワークメンバーが日本語教育機関以外の教師会や学会等の団体の場合には、研修参加候補者がさくらネットワークメンバーの団体に所属していることの証明書(さくらネットワークの団体が作成したもの)を申請書に添付してください。

海外日本語教師 **テーマ別** 研修  
申請書

Training Program for Teachers of the Japanese-Language on a Specific Theme  
Application Form

申請書を国際交流基金の海外拠点又は日本国大使館や総領事館等の在外公館にご提出ください。台湾所在の機関は(公財)日本台湾交流協会の台北事務所にご提出ください。国際交流基金本部・附属機関では海外からの申請を受け付けません。インターネットや e-mail による申請書の提出は受け付けません。申請書は、活字体でご記入ください。なお、申請書に記入される個人情報の利用目的については、申請要領の「10.個人情報の取扱い」をご覧ください。

Applications should be submitted to the Japan Foundation office in your country or Japanese diplomatic mission of Japan. In Taiwan, applications must be submitted to the Japan-Taiwan Exchange Association, Japan, Taipei office. The Japan Foundation Headquarters in Tokyo and affiliated organizations will not accept applications from overseas applicants. Applications will not be accepted through the Internet or by e-mail. This application form should either be printed or written using block letters. For details on the use of personal information included in the application form and attached documents, please see "10. Handling of Personal Information" in the Application Instructions.

国際交流基金日本語国際センター所長殿  
To the Director of the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa

年 月 日  
Year Month Day

私は平成 30 年度海外日本語教師テーマ別研修に下記の者を参加させたく申請いたします。  
I hereby elect the person named below to participate in the 2018-2019 Training Program for Teachers of the Japanese-Language on a Specific Theme.

機関名 \_\_\_\_\_ 代表者署名 \_\_\_\_\_  
Name of Institution Signature of the Representative of the Institution

代表者氏名 \_\_\_\_\_  
Name of the Representative of the Institution

研修テーマ Specific Themes  
申請する研修の□に印を付けてください。Please check a box of the theme you choose.  
両方選択した場合、( ) に優先順位の番号 (1, 2) を書き入れてください。  
希望通りの研修テーマで採用されない場合もあります。  
In case of choosing both themes, please indicate the order of your preference (1 or 2).  
Please note that the Institute may be obliged to offer a theme other than your preference.

( ) 文法指導法 2018 年 5 月 29 日～ 2018 年 7 月 5 日 (予定)  
"Teaching Japanese grammar" May 29, 2018 to July 5, 2018 (tentative)

( ) コースデザイン 2018 年 11 月 6 日～ 2018 年 12 月 13 日 (予定)  
"Course Design" November 6, 2018 to December 13, 2018 (tentative)

候補者 (以下は候補者が記入のこと)  
CANDIDATE (The following form should be filled in by the candidate.)

氏名 Name	漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana	姓	名				
	英語 In English alphabet	Last Name	First Name				
	パスポートに記載の表記 Name as written on your passport in English alphabet						
性別 Sex	生年月日 Date of Birth	19 年 月 日 Year Month Day	年齢 Age	2017 年 12 月 1 日現在 As of December 1, 2017	国籍 Nationality	歳	
連絡先 (ローマ字) Contact (in English alphabet)							
住所 Address							
Tel.		FAX		e-mail			

所属日本語教育機関名 Affiliated Institution		部門名 Faculty/ Department/ Program, etc.		地位 Position	専任/非専任 Full time or Part time
漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana					<input type="checkbox"/> 専任 Full time
英語 In English					<input type="checkbox"/> 非専任 Part time
原語 In Native Language					
所属日本語教育機関住所 Address of Affiliated Institution					
Tel. <span style="margin-left: 200px;">FAX.</span>					
機関 ID ID of affiliated institution					
<p>※日本語教育機関検索データベース (<a href="https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index">https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index</a>) にて所属機関の機関 ID を確認の上、記入してください。所属機関が同データベースへ未登録の場合は記入不要です。</p> <p>*The ID of affiliated institution can be found on the "Search engine for institutions offering Japanese-language education" (<a href="https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index">https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index</a>). No need to fill this column if your affiliated institution is not registered on the "Search engine".</p>					
最終学歴 Last school attended	機関名 Name of institution				取得地 Location
	取得年 Year of completion		学位 Degree conferred		専攻 Major
学位取得論文タイトル (修士号、博士号を取得の場合には必ず記入してください) Thesis/dissertation title (Required for applicants who have obtained their Masters or Doctoral degrees)					

さくらネットワークに所属していますか?  
Do you belong to organizations of the **Sakura Network**?

For "Sakura Network", please visit the following website; <https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/education/network/> (Japanese)  
<https://www.jpff.go.jp/e/project/japanese/education/network/> (English)

はい Yes  
⇒ さくらネットワークメンバー (機関、団体) 名 : \_\_\_\_\_

Name of the Sakura Network member : \_\_\_\_\_  
(institution, organization..etc.)

いいえ No

日本で義務教育を修了しましたか?  はい Yes  いいえ No  
Did you complete your compulsory education in Japan?

以下の記入欄について、日本語の母語話者である方は、\*印の欄を記入する必要はありません。  
Applicants who are native Japanese speakers need not to fill in the columns with \*.

* 日本語学習歴 Previous Japanese language study	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
日本以外での 日本語教師研修受講歴 (国際交流基金海外拠点による研修を含む) Training programs for Japanese language teachers undertaken outside of Japan, including programs of the Japan Foundation	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
日本語教授歴 Japanese language teaching experience	期間 Term	機関名 Institution	対象者 Students in class 年齢 Age レベル Level	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
合計 In total  年 か月 Years Months				
日本語教授歴が、3 年未満の方は申請資格がありません。 Those who have more than three years of experience in Japanese language are eligible.	科目名 Subject Taught	対象者 Students in class 年齢 Age 人数 Number	担当時間数 (週・年) Loading Hours Week/Year	使用教材 Textbook
			週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	
			週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	
			週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	
			週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	
現在の担当科目 Japanese classes currently taught				
日本語以外の担当科目 Subjects currently taught aside from Japanese			週 ( ) 時間 (per week) 年 ( ) 時間 (per year)	



日本語能力試験 Japanese-Language Proficiency Test (JLPT)		受験年 Test Year	JLPT 取得級 Passing Grade (Level) <input type="checkbox"/> N1 <input type="checkbox"/> 1 級 <input type="checkbox"/> N2 <input type="checkbox"/> 2 級 <input type="checkbox"/> N3 <input type="checkbox"/> 3 級 <input type="checkbox"/> N4 <input type="checkbox"/> 4 級 <input type="checkbox"/> N5	認定番号 Certificate Number
日本滞在歴 Previous stay in Japan  留学の場合は、所属機関を 明記してください If you have studied in Japan, be sure to specify the name of institutions.	期間 Term	日数 Days	滞在目的・受けたグラント・当センター研修等 Purpose; Grant Received, Training Programs at the Institute (if any)	
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			

**授業以外での日本語教育への貢献 Your contribution to Japanese language teaching outside of class activities**

授業以外での日本語教育への貢献があれば具体的に記入してください。(例：開発した教材、日本語教育についての学会・セミナー発表、日本語教師会等での活動歴等)

Please write in the space below, if you are making (or have made) a contribution to Japanese language teaching in your country outside of class activities (For example, teaching materials that you have developed, papers on Japanese language education that you have presented at academic conferences or seminars, your involvement in the Association of Japanese Language Teachers or other activities).

1. これまで受講した教師養成課程や教師研修の内容について、簡単に書いてください。

(例：初級の教授法についての講義、教育実習、聴解の教え方など)

**Please briefly describe any Japanese language teacher education programs or any Japanese language teacher training programs you have attended so far. (e.g., lectures about novice teachers, teaching practices, listening comprehension teaching methods, etc.)**

2. 現在実施しているコースや授業の問題点や課題を書いてください。

**Please describe a problem or challenge that you face in your current classes.**

3. 参加を希望するテーマについて、研修に参加する目的と意義を書いてください。

**Purpose of participating and expectations of the specific program you applied to**

(1) 研修テーマ 「文法指導法」 Specific Theme; “Teaching Japanese grammar”

2で回答したこととの関連を含めて、あなたが「文法指導法」の研修に参加する目的と意義を記載して下さい。

**Please describe why you wish to participate in the training program below in the Teaching Japanese grammar, and its correlation to what you described in Question 2 (problems /challenges).**

(2) 研修テーマ 「コースデザイン」 Specific Theme “Course design ”

2で回答したこととの関連を含めて、あなたが「コースデザイン」の研修に参加する目的と意義を記載して下さい。

**Please describe why you wish to participate in the training program below in the Course design , and its correlation to what you described in Question 2 (problems /challenges).**

申請機関の概要 Outline of the Institution

できれば機関の紹介パンフレットなどを添付してください。

Please attach some general information on your institution (introductory brochure, etc.).

機関及び日本語コースの設立の経緯と歴史 History of the Institution and Japanese Language Course
日本語コースの概要（修学年限、週当たり授業時間数、学習者数等を記入してください。） Outline of Japanese Language Course (state the length of the course, hours of study per week, the number of students)
学年暦（授業の開始月、終了月及び学期区分を記入してください。） Term / Semester (state the beginning and end months of each term or semester)

学生の構成 Attributes of Students A か B のいずれかを選び、 <input type="checkbox"/> に印を付けてください。 Please choose A or B and check all appropriate boxes.
A. 学校教育の場合 Formal Institutional education <input type="checkbox"/> 小学生 Primary-school students <input type="checkbox"/> 中学生・高校生 Secondary-school students <input type="checkbox"/> 大学生 University/College students
B. 学校教育以外の場合 Education other than formal institutional education <input type="checkbox"/> 年少者(小・中・高校生を含む) Children <input type="checkbox"/> 成人(大学生含む) Adults

日本語教育スタッフ（候補者を含め全員記入してください） Staff of the Japanese Language Course, including the candidate.								
氏名 Name	地位 Position	専任・非専任 Full-time or Part-time	年齢 Age	日本語教授年数 Years of experience as a Japanese language teacher	対象者数 Number of students	週当たり時間数 Hours per week	年時間数 Hours per year	国際交流基金 研修参加年 Year of participation in JF Program, if applicable

